

科目名		基礎情報処理論Ⅱ (Fundamental Information Processing Ⅱ)							
学年	学科(コース)	単位数		必修/選択	授業形態	開講時期	総時間数		
第1学年	経営情報学科	履修	1単位	—	講義	後期 90分/週	30時間		
担当教員		【常勤】二木 映子							
学習到達目標									
科目の到達目標レベル	経営情報学科の専門科目では、コンピュータやインターネットを使用して各種の専門講義が行われる。このために必要な基礎的知識を講義を通じて理解することを目的とする。								
学習・教育目標	(B)	JABEE基準1(2)		—					
関連科目, 教科書および補助教材									
関連科目	情報システム論								
教科書	やさしい基本情報技術者講座(高橋麻奈、ソフトバンククリエイティブ株式会社)								
補助教材等	プリント								
達成度評価 (%)									
評価方法 指標と評価割合	中間試験	期末・学年末試験	小テスト	レポート	口頭発表	成果品	ポートフォリオ	その他	合計
	総合評価割合	30	30		20			20	100
知識の基本的な理解 【知識・記憶、理解レベル】	◎	◎							
思考・推論・創造への適用力 【適用、分析レベル】	○	○		◎					
汎用的技能 【タイピングスキル】								◎	
態度・志向性(人間力) 【 】									
総合的な学習経験と創造的思考力 【 】									
学習上の留意点および学習上の助言									
予習は、教科書を読んでおく。									

授業の明細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	ガイダンス	シラバスから学習の意義、授業の進め方、評価方法を理解できる。	次回の予習
2	情報について学ぶ	コンピュータの歴史を学び、コンピュータの基本となるビットやバイトの関係を学ぶ。	予習として教科書を読む。 復習としてプリント内容を理解する
3	10進数と2進数について	基数について、2進数の計算方法を理解する。	予習として教科書を読む。 復習としてプリント内容を理解する
4	n進数について	n進数の解き方を理解する。	予習として教科書を読む。 復習としてプリント内容を理解する
5	数値の表現	2進数をビットで表す方法を理解する	予習として教科書を読む。 復習としてプリント内容を理解する
6	小数の表現と誤差について	10進の小数点をn進数にする方法や、コンピュータではなぜ誤差が発生するかを理解する	予習として教科書を読む。 復習としてプリント内容を理解する
7	論理演算とコンピュータの回路	論理回路を理解し、コンピュータの仕組みを理解する	予習として教科書を読む。 復習としてプリント内容を理解する
8	中間試験		
9	試験返却・解答解説 ハードウェアについて	試験問題の解説を通じて間違った箇所を理解できる。 ハードウェアの名所とデータの動きを理解する	予習として教科書を読む。 復習としてプリント内容を理解する
10	ハードウェアについて プログラムの実行方法	ハードウェア上ではプログラムがどのようにして計算されるかを理解する	予習として教科書を読む。 復習としてプリント内容を理解する
11	ソフトウェアについて OSについて	基本ソフトウェアであるOSについて理解する	予習として教科書を読む。 復習としてプリント内容を理解する
12	ソフトウェアについて プロセスについて	プログラムの基本について理解する	予習として教科書を読む。 復習としてプリント内容を理解する
13	データベースについて	データベースについての基本を理解する	予習として教科書を読む。 復習としてプリント内容を理解する
14	ネットワークについて	通信の基本を理解する	予習として教科書を読む。 復習としてプリント内容を理解する
	期末試験		
15	答案返却・解答解説 全体の学習事項のまとめ 授業改善アンケートの実施	試験問題の解説を通じて間違った箇所を理解できる。	
総授業時間数			30 時間